

今金町生涯学習情報誌 いまナビ

令和元年
一月二十日

～学びの“今”をナビゲートする～ 第15号

発行日：令和元年 12月 20日
発行：今金町教育委員会
編集：社会教育グループ
〒049-4393
瀬棚郡今金町字今金 48 番地の 1
TEL. 0137-82-3488
FAX. 0137-82-3445

「今金町生涯学習情報誌いまナビ」は毎月の広報紙「広報いまかね」では掲載しきれない教育関係の記事をはじめ、所属団体の活動情報、教育関係委員のコラムを掲載し、町民の皆様々に教育関係事業の情報をお知らせするものです。年4回、町内全世帯向けに発行しています。どうぞご覧ください。

■ ファミリープロジェクトが終了しました

10月13日、「ファミリープロジェクト 2019 今金コレクション」が総合体育館で開催されました。今回のプロジェクトはファッションショーとゴスペルコンサートが同時開催のため、沢山の方々に協力していただきました。

今回は本番までに2回北翔大学の学生が今金町に来町しました。その際の昼食の提供を、実行委員会の交流部の皆さんにお願いしました。今金の特産品を使用したカレーやおにぎり等、早くから集まり美味しい料理を提供してくださいました。今金コレクション前日にはゴスペルコンサートの関係者も含めた約100名で前夜祭を行い、オードブルなどの食事交流部の皆さんが心を込めて作ってくださいました。食事は札幌のゴスペルクワイアの方々に大好評で、今金に来てよかった！との声もありました。

モデルのメイクやヘアメイクを引き受けてくださったのは町内の美容師さんです。衣装の色や形、モデルの髪の長さや雰囲気などを踏まえ、どのようなメイクがいいのか、どのようなヘアアレンジがいいのかを考えてくださいました。

今回のショーには、ナレーションや舞台装飾などで中学生も参加しました。中学生のナレーション指導をくださったのは、フリーアナウンサーの竹内利美氏。本物に触れることができ、中学生は大変喜んでいました。また、モデルのウォーキング指導は北翔大学のファッションショーでもウォーキング指導をされている、端谷真子氏にお願いしました。端谷先生の指導のおかげか、本番のモデルは堂々ときれいに歩かれていました。

沢山の方々に支えられ、今回のファッションショーも成功に終わることが出来ました。ご協力いただいた皆様、ありがとうございました！

(齋藤)



▲今金カレー（交流部）



▲交流部の皆さん



▲アナウンス指導の様子

今後の主な行事

会場

今後の主な行事	会場
1月11日(土) こどもかるた交流会	総合体育館
1月12日(日) SOMPO ボールゲームフェスタ	総合体育館
1月16日(木) えいごキッズくらす	総合体育館 武道場
2月16日(日) ピリカ歩くスキー大会	美利河地区
3月1日(日) いまかねひなまつり	町民センター

※詳細はチラシ等で随時お知らせいたします。日程等変更になる場合があります。

■ ニュージーランド中学生派遣事業報告会が行われました



平成2年から始まったニュージーランドバーンサイド高校との交流も28年目を迎えました。これまでの派遣・受入の総人数は550名を超え、確かな絆で結ばれる事業となりました。今年度は派遣の年であり、生徒13名と引率2名が8月にニュージーランドへ行ってきました。

11月15日に行われた報告会では、ニュージーランドで経験したこと・感じたことなどを、派遣生一人一人がテーマに沿って発表しました。日本とは違う街並みや生活習慣、初めての海外やホームステイで経験したことなど、13名それぞれ違うテーマで発表しました。司会進行やマイクの移動等もすべて派遣生が行い、緊張しながらも50分間の報告会を終えました。派遣生からは、今金町のみなさんや地域のみなさんへ、この事業に参加させていただいたことへのお礼のことばもありました。派遣生はこの事業を通して大きく成長したことと思います。この経験を今後の生活や将来に活かしていきましょう。

来年度は受入の年であり、ニュージーランドから高校生が来町します。今金町全体で国際交流をしていきましょう！ (大場)



▲司会進行の様子



▲村上副実行委員長のあいさつ



▲発表の様子



▲質疑応答



▲報告会終了のあいさつ

■ 健康まつり+図書まつりが開催されました

9月29日、総合体育館にて「第3回健康まつり+第15回図書まつり」が開催され、小さいお子さんから高齢者までたくさんの方に足を運んでいただきました。会場には「健康相談」「体力測定」「高齢者疑似体験」などの健康ブースや、「おはなし(読み聞かせ)の時間」「ブックリサイクル(古本市)」「ボードゲーム」などの絵本ブースがありました。午後からは「笑いは健康につながる」をキーワードに総合体育館開館記念として「よしもとお笑いライブ」が開催され、麒麟の田村さん、ペナルティのヒデさん、ゴールデンズ、つちふまズの計6名によるステージがありました。来場者は「健康」と「図書」を通じた各催しに触れ、それぞれに親しむきっかけになったと思います。(大場)



▲おはなしの時間



▲健康相談ブース



▲よしもとお笑いライブ



いよいよ冬将軍が到来！
12月に入って、道行く人の歩調が早まったように感じられる今日この頃です。月日が経つのは早いですね。

この一年を振り返ってみますと今金町ではいくつかの行事がありました。時が過ぎれば忘れがちなその事業一つひとつにたくさんの人が関わり、思いが込められ、これからの展開に結び付く大切な一コマだったような気がします。

その一つに令和元年10月13日に総合体育館あいきゅーぶを会場に体育館落成記念・世代間交流・大学連携・中高生体験講座の合同事業として「ファミリープロジェクト2019今金コレクション」(ファッションショーとゴスペルコンサート)が執り行われました。

ファッションや歌を通して世代間の交流や地域の方々との結びつき、また北翔大学やNATSUKIゴスペルチーム、プロのアナウンサーのお力を得ながら私たち町民が幸せを体感する素敵な一日を過ごすことができました。

合同事業の共通するところは、家族や地域の人々との絆を感じ、その交流から育つ豊かな感性と思いやりの心を通して、喜びや楽しさを分かち合い、それぞれが明日へのエネルギーを見出し、将来の夢を育むことにありました。

社会教育の素晴らしさは、当日の感動はもちろんですが、その事業を準備する過程の創意工夫や、創り上げた時の充実感です。

異業種、異年齢の人たちが出会う時、弾むコミュニケーション、困った時にみんなで考え解決していく時、本番に向けてのワークショップの数々、メイクやアナウンス、料理など得意分野を惜しみなく発揮する方々、その全体をまとめ笑顔で受け入れる若き担当職員、そして、それらの見えない時間の努力をすべて迎え入れてくださる観客の皆さんがいること……社会教育は本当に素敵だと思わせてくれた事業のひとつでした。

今回参加された札幌のゴスペルチームの方からこんなメッセージをいただきました。

《今金町万歳》

忘れ難い経験、素晴らしい人々と自然の息吹
感謝の念にあふれ お便り致しました。

(文末より)

連携事業とはかくありきですね。

私たちは日々の暮らしの中でいくつもの発見をしながら、少しずつでも幸福を深くすることができるのですね。

来年もみな様にとって良き一年でありますように……。

■プログラミング教育ってどんなことをするの



2020年4月から小学校でプログラミング教育が始まります。小学校の先生方は、研修会に参加してプログラミングを体験したり、教育活動のどこで(算数の授業の中でとか、総合的な学習の時間とか)取り入れるか検討しています。

なぜ導入されるのか。文部科学省では「子どもたちの可能性を広げることにもつながる」と説明しています。

強調されている一つは「プログラミング的思考」を育てることです。これは、意図したことを

どうしたら実現できるかを論理的に考える力です。私は「段取り力」ととらえています。たとえば、プログラムというと、運動会を思い浮かべます。種目が順番に並んでいますが、前後に見えないプログラムがあります。雨が降ったらどうするか、その判断は誰がするのか、けが人が出たらどうするか。この力は算数や国語(説明する)などの学習に必要ですが、普段の生活や将来設計などに応用が効く力です。

詳しく知りたい方は、文部科学省ホームページから「小学校プログラミング教育の趣旨と計画的な準備の必要性について」で検索してみてください。



社会教育委員だより 〈社教委員のつぶやき〉

社会教育委員によるコラムリレーを掲載しています!

〈今金町社会教育委員会〉

委員長	天沼 寧	副委員長	山崎 周一
委員	野本 雅明	委員	米田 昌
委員	刈屋 滋子	委員	久ヶ澤サユミ
委員	池田 誓哉	委員	村瀬 一人

世代間交流



委員 ^{かり}刈 ^や屋 ^{しげ}滋 ^こ子 (主婦)

ある日の新聞に“中学生と野球で楽しく交流”という記事が掲載されていました。それは、おやじ仲間で作る野球チームと中学校の野球部で試合をし、試合後は飲み物やボールなどを差し入れ、さわやかな一日を過ごしたという記事でした。

身近でも同様の光景を目にすることがあり、嬉しく思ったことがあります。健康のために始めたミニテニスの練習日。その日は若い男子と一緒に練習をしていました。話を聞くと彼は高校生で、近日に試合があるので一緒に練習させてもらったとのこと。その時「世代間交流っていいなあ」「ほかにもこんな機会がたくさんできたらいいなあ」と思っていた時に読んだ新聞記事でした。

大人（社会人・シニア世代）と子ども・学生と一緒に同じ空間で事業やスポーツを楽しみ交流することでお互いの刺激になり、また顔見知りになることでコミュニケーションがスムーズになり、地域の活性化に繋がるのではと思っています。

現在、私はシニア仲間と一緒に若者と生涯スポーツであるミニテニスをたのしんでいます。これも世代間交流かなあ。

▶世代間交流事業の様子



何もないは全てある



委員 ^{いけ}池 ^だ田 ^{せい}誓 ^や哉 (住職)

2019年も終わろうとしています。昨年は5月に父が往生し大きな変化の1年でした。そして今年は、今まで意識せず蒔いていた種がここ今金で思いがけずたくさん花咲いた1年でした。

まずは3月に東京時代の友人でもあり、日本武道館でワンマンライブを行った経験をもつホフディランのワタナベビーさんが今金でライブを開催。「こんな山奥から大都会東京で活躍していたと思うと感慨深い」と、有り難いお言葉をいただきました。

続いて6月には今金町出身の写真家・^{ゆうきしゆん}佑木 瞬さんの師匠で、私も東京時代お世話になっていた写真家の^{ひらま}平間 至さんに、今金でカメラのワークショップと撮影会を開催していただきました。今金の町や自然、食べ物、人柄、土地柄に触れた平間さんは、私たちに「何もないは全てある」という言葉をくださいました。この言葉は平間さんに撮影していただいた、いま ch. (ちゃん) の新ポスターに入れさせていただきました。まさか東京時代にお世話になった平間さんに今金町で撮影していただく時代が来るとは思いもしませんでした。

そして先日の11月24、25日にはお寺の専門学校の同期が、専教寺の報恩講法要で大阪からご法話のために来寺。いつかうちの御門徒さんにも彼のお話を聞いてもらえたらと思っていたので本当に嬉しかったです。

来年も自分が町外でいただいたご縁を地元今金町にアウトプットしていけたら、こんなに有り難いことはありません。1年本当にお世話になりました。